

## 第2回新しい学校づくり鳴門市地域協議会議事録

### ○視察報告（A高校，B高校）について

#### 委員

視察先の体育の教員数ですが，加配があるのでしょうか。

また，A高校の「専門体育」という科目は学校設定科目ですか。

#### 事務局

A高校の体育の教員は10名のところを学校の活動状況，選択科目の展開などへの配慮から，1名加配をいただいて11名になっているとのことでした。

「専門体育」は，学校設定科目であり，1年から3年まで縦割りで授業を行っています。

#### 委員

生徒の募集は，学区制なのか全県での募集なのか教えてください。

#### 事務局

A高校については確認できていませんが，「地元の生徒を集めよう」との思いを持ってスタートしたとのこと。成果が上がったため，最近では地元だけではなく都市部からも流入してくるようになっていきます。また，強化指定の競技種目については，推薦を中心に各顧問が中学校の教員と連絡を取りながら生徒の確保に努めています。

B高校については全県一区としていますが，競技種目が少ないため推薦の人数については1学年18名のみとなっております。

（注）確認の結果，A高校についても全県一区となっております。

#### 委員

今まで高校に体育科があることを知りませんでした。インターネットで調べてみますと，全国に体育科や体育コースがあることを知りました。A高校には体育科があるということですが，高校卒業時には就職に役立つような資格は取れるのですか。

また，大学進学する割合も高いようですが，大学との連携，例えば推薦の制度はあるのでしょうか。

県内外から入学してくる生徒も多いと思います。高校として寮の施設が必要になってくると思いますが，どうなっているのでしょうか。

総合学科の中に体育コースがある場合は，自由に選択できます。しかし，体育科で他に興味を持った場合など，その生徒はどうしているのかについて教えてください。

#### 事務局

高校卒業時に就職に役立つ資格については，確認できておりません。

進学については，顧問と大学の教授との連携などにより，推薦も含め進学先を確保していると聞きました。

C県も財政的に厳しい状況であり，A高校に寮は設置されておきませんが，同窓会や後援会等有志から合宿所を寄附していただいています。

体育科に入学してきた生徒で今までに1名だけ、部活動をやめ総合学科に転科した生徒がいたそうですが、推薦で入学してくる生徒も多く、怪我をしても最後まで体育科で頑張れるように配慮しながら、基本的には卒業まで部員として活動していくことが原則です。

委員

強化種目に対して、特別の支援、県からの財政的支援はあるのでしょうか。

事務局

その件については直接確認していませんが、県からの支援としては、体育の教員1名を加配してもらっていることです。また、強化種目については、部活動の顧問はすべて体育の教員であり、専門的な指導を出来る教員の配置について配慮がされていると思います。

委員

高校段階で体育科で取れる資格はないと聞いています。各種学校等、上級学校へ進学してはじめて、資格が取れるようです。

委員

両校とも部活動で実績を挙げています。授業は部活動と連動して行っているのですか。

事務局

A高校の「専門体育」が部活動と連動しています。

委員

A高校には数多くの競技種目がありますが、総合学科の生徒も部活動には入部できるのでしょうか。

事務局

総合学科の生徒も、希望する部活動に取り組めます。バスケットボール等のチーム種目については、体育科の生徒が中心となっていますが、ウエイトリフティングなどの個人種目については、総合学科の生徒も体育科の生徒とともに活動し、実績も挙げております。

ただし、「専門体育」を選択できる体育科の生徒は授業に引き続いて部活動に取り組めますが、総合学科の生徒は授業終了後に自分で（部活動の行われている）町の体育施設まで移動することになり、若干不利になる面もあるとのこと。

○新しい学校の基本方針について

委員

資料の学校像の中に「多様な選択が可能な学校」とありますが、これは、学校の特徴ではないかと思えます。

また、育てたい生徒像の中に体育科に関する文言が入っていません。スポーツを通して、活躍できる生徒も大切ではないかと思えます。

## 事務局

前回の地域協議会で普通科，総合学科，体育科などを含めいろいろなご意見がありました。「多様な選択が可能な学校にしたい」ということで提案させていただいております。

今回ご指摘いただいた点につきましては修正したうえで，次回，案を出させていただきたいと考えておりますので，このようなご指摘も含めて活発なご協議をお願いします。

## 委員

基本方針については漠然とした記述になっており，意見が出しにくいように思います。総合学科としてどのようにすればいいのかなどについての方が意見を出しやすいように思います。もっと具体的なことについて協議してはどうでしょうか。

## 委員

それでは，まず学科についてご協議していただくこととします。それを基に，次回までに事務局で案を作ってもらい，それに対して議論していく形で進めていきたいと思っております。

## 委員

なると金時，レンコン及び梨農家の後継者育成として農業コースを設置していただきたいと思っております。

また，機械コースは総合技術高校で対応するとありますが，鳴門工業高校開校時からの伝統ある機械コースですから残した方がいいように思います。機械コースがなくなると，合併と言うよりは工業が廃止のように思えます。

## 委員

機械コースがなくなるのは，寂しく思います。予算の問題もありますが，ロボットの全国大会に出場するという伝統もありますので，科とできなくても機械について勉強できるものを残してほしいと思っております。

鳴門工業の情報理数コースでは，資格取得して就職につなげています。資格取得を目指して専門的に深く掘り下げているからこそ企業も受け入れていると思っております。これが総合学科になったとき，どこまで専門を深く進めていけるのでしょうか。できれば，鳴門工業で行っていたように技術的な分野まで掘り下げた授業で取り組んでいただきたいと思っております。

「社会ですぐに活躍できる生徒」「社会の即戦力を育てる学校」という目的があるので，ちょっとかじっただけで卒業できるのではなく，ハードの面まで掘り下げた教育を行ってほしいと思っております。

## 委員

新しい学校は進学にも就職にも対応できるようにしなければならないと思っております。総合学科の状況を見れば，どちらにも対応しているように思っております。鳴門第一，鳴門工業が築いてきた実績を引き継いでいくことも重要ですので，就職の際，地元企業に受け入れてもらえるような生徒を育成することが望まれています。そのためには資格取得が重要ですので，ある程度資格が取れるような教育課程，システムづくりが必要だと思っております。

体育科の併設も大切だと思いますので、総合学科とどのようにバランスをとっていくのか、これはどのような学校をつくるのかにも関わってきます。スタートを切るまでにしっかりと議論する必要があります。

#### 委員

全国にはマルチメディア科が設置されている高校もあると聞いています。IT革命により世界が変わってきてるので、ITを使った専門的な学習をすることが大切です。

CGの分野でも活躍している人がいますし、専門の学習をして、資格を取得できるような高校もあります。情報関係は鳴門第一、鳴門工業の両校にありますので、これをもう少し専門的に掘り下げて、即戦力を育てるような学科があれば、若者にとって魅力があると思います。

#### 委員

総合学科になれば、入学したときからコースで分かれると思いますが、学年が変わって、興味が変わったら、農業や陶芸などへコースを変えることはできるのでしょうか。

#### 事務局

基本的には総合学科にコースはありません。農業、陶芸のどちらにも興味があれば、同じ学年で両方を履修することもできますし、2年次に農業、3年次に陶芸を選択するといったように学年ごとに選択することも出来ます。

時間割展開の都合上、農業と陶芸の授業が重なり片方しか選択できないことも考えられますが、農業であれ陶芸であれ、興味のある科目を選択できるのが総合学科のよいところです。

#### 委員

総合学科については、農業、陶芸といった多様な科目をつくってほしいというご意見と資格取得ができ、地元企業に受け入れられるような科目をとというご意見がありました。

また、進学についても対応しなければならないので、科目について十分に配慮してほしいというご意見もありました。

体育科とするか総合学科の中の系列とするかについてもご意見があればお願いします。

#### 委員

体育科になれば、加配もあり体育の教員が増えることになるので、総合学科の中の系列として体育系列を設置するのではなく、体育科とするべきであると思います。

また、1年生から縦割りの学校設定科目を開設できるため、継続的に競技力向上につなげていける、さらに、生涯スポーツの指導者養成の面でもレベルアップが図れると思います。そういう意味からも総合学科と体育科は切り離れた方がよいと思います。

また、先程のご意見の中に情報科は独立させるというものがありました。総合学科のバラエティが少なくなることが課題と考えられますが、情報の視点から言うと、これほど魅力的な学科はありません。

また、ボイラーの資格、電気工事士の資格を持っているかどうかを鳴門市内の企業に聞かれたことがあります。資格取得は絶対に必要だと思います。

## 委員

体育科については、色々な面でメリットがありますので、体育科を独自に設置する方がいいと思います。ただ、A高校は2クラスで80名と伺いましたが、規模・定員をどのようにするのは非常に難しい問題であると考えております。80名が集まるかどうか心配ですし、また、規模として1クラスであると魅力あるものにはなりにくいのではないかと思います。1クラスでは規模が小さく、教員数も少なくなり、競技種目数も限られてきます。2クラス程度あれば、いろいろな競技種目が展開でき、より魅力あるものにつながると思います。

## 事務局

A高校が最初から2クラスでスタートしたわけではありません。平成4年に体育科が設置されたときは1クラスでスタートしましたが、それでも地元から生徒が集まるかどうか不安であったと聞いています。

しかし、実績が挙がるにつれ、地元の生徒が入学してくるようになり、5年後の平成9年から2クラスにできました。努力を重ねながら2クラスにできたという経緯がありますので、それも参考にしながらご協議いただければと思います。

## 委員

両校とも地域の施設を使用しているとありました。鳴門でも施設を使えるのでしょうか。

## 事務局

鳴門には県立の鳴門総合運動公園があるので先日相談に行ってみましたが、第2陸上競技場などは自由に使えるのではないかと、最新のトレーニングマシンを備えているトレーニングルームについては一般の利用者がいるので使用時間の制限がある、また、他の武道場等の施設についても一般の方に支障がなければ使用について検討するので、議論が進んだ段階でもう一度具体的に相談に来てくださいますようお願いいたします。

鳴門第一高校、鳴門工業高校ともに、運動公園まで移動するには若干の時間がかかりますが、バスが必要になるという距離ではないので、県の施設を活用することは可能であると考えています。

## 委員

出口の問題から、体育科の募集人員は40人でないと難しいと考えています。現在の鳴門工業の生徒は、工業の資格を持つことで有利に進学・就職することができていますが、高校の体育科を卒業して取れる資格はほとんどゼロです。体育科単独の卒業生となった場合、どこまで進路を保障できるのでしょうか。先程も視察の説明で、進学は顧問が開拓したところを中心にとということでした。そうなるとおのずと制約が出て、40人が精一杯ではないかと思えます。

## 委員

総合学科の中で、農業も大事だし、情報も大事であるというように、いろいろと議論が出ております。両校の教育を活かしていける情報に関してご意見はありますか。

## 委員

資格取得については系列の中で可能な限り行ってほしいと思います。ソフトウェアを扱うだけではなくハードも扱えるという事が大切です。就職の面を考えると情報といえども第2種電気工事士が取れるようなカリキュラムが必要です。また、第3種電気主任技術者や工事担任者の資格が取れるカリキュラムも必要であると思います。

3DCGの検定も取れるようになるといいと思います。単にアプリケーションを使えるというだけでなく、アプリケーションの指導やインストラクターができるようなカリキュラムの中で、あるいは、部活動を通して資格を取れるようにしたらどうでしょうか。そのためには、実習室が必要です。財政的な問題点もありますが、実習室は1部屋では無理があります。CGを扱うためには高速のパソコンの導入も必要です。ソフトとハードを両方学習する、体験できる情報の系列が必要であると考えています。

## 県教育委員会

アドミニストレータ等の資格は対応できるかもしれませんが、第3種電気主任技術者等については、かなりの施設設備が必要になり、総合学科の系列としてはレベルを超えているように思います。どのような情報の系列にするかを地域協議会でご議論いただくことになりませんが、電気関係についての対応は難しいと考えております。

また、鳴門工業に創設以来からある機械コースについては、総合技術高校で対応する方針になっています。農業コースは、設置するとなると圃場や実習地が必要になりますが、それらの施設整備は難しいと考えております。鳴門特産の農産物がたくさんありますので、総合学科の系列の中で農業や陶芸に関する学校設定科目等を開設し、その中で対応していけると考えております。

## 委員

新しい学校の方向性としては、総合学科と体育科の2本柱でいくということが見えてきたように思います。総合学科の系列、カリキュラムや授業内容などについて皆さんのご意見を組み込めたらと思います。

今回は、事務局から学科編成について案を出してもらい、それを元に協議を進めたいと考えています。

## 事務局

学校像などは漠然としており議論がしにくというご指摘をいただきました。学科編成や教育の中身とあわせて実務者会議で学校像などについても案をつくり、次回の地域協議会で提示し、ご意見をいただきたいと思いますのでよろしくお願い致します。